

令和5年度 事業所自己評価結果の公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表: 令和6年3月29日 / アンケート期間: 令和5年2月5日～令和5年2月20日 / 回答者数(児童数)11名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	1 職員の配置人数や専門性は適切であると感じられますか。	10		1
	2 日々の活動や支援のためのスペースは十分に確保されていると感じられますか。	6	5	
	3 保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの活動に合わせた環境になっていますか。	11		
	4 保育・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。	10	1	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
適切な 支援の 提供	5 お子さまと保護者さまのニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていますか。	11		
	6 個別支援計画に沿った支援が行われていると感じられますか。	11		
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	11		
	8 保育所や幼稚園、他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等との連携した支援が行われる機会がありますか。	4	5	2

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
保護者 への 説明等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	11		
	10 日頃からお子さまの状況を保護者さまと伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	11		
	11 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	11		
	12 行事の開催などを通じて保護者同士の交流・連携が支援されていますか。	6	4	1
	13 お子さまや保護者さまとの意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	11		
	14 定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等のお知らせ情報が発信されていますか。	11		
	15 個人情報の取り扱いに十分注意されていると感じられますか。	10		1

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
非常時 対応	16 防犯対策、感染症予防、非常災害時の対応方法について、保護者さまに周知・説明されていますか。	11		
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	11		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
満足 度	18 お子さまは通所を楽しみにしていると感じられます	11		
	19 事業所の支援に満足していますか。	11		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和5年度 事業所自己評価結果の公表

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

公表: 令和6年3月29日 / 回答者数(職員数) 6名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 職員の配置人数は適切である。	6		・子どもたちが安心して過ごせるように、自由遊び・活動・おやつなど、ひとつひとつの子どもとスタッフの配置(テーブル等のセッティング含め)を社員が予め考えてくださっています。子どもたちにも視覚的にも分かるようにしています。また子どもたちの身支度スペースを、何度も改善していき、わかりやすく取り組める環境をスタッフで話し合い作っていききました。	・自教室は、棚の高さや照明の安全性など、地震対策を考慮した環境設定を再検討していく必要があると思われました。 ・事務所が物が片付かない。
	2 日々の活動や支援のためのスペースは十分に確保されている。	6		・利用児の入れ代わりが多いので、その時々で全体を見ながら使いやすいようにレイアウトを替えている(身支度スペースを広くとるなど)。また、ひとりひとりに合わせて、カードの大きさや貼り方ひとつ取っても、常に話し合っただけで考え配置している。	
	3 保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの活動に合わせた環境になっている。	6		子供達に合わせて変更したり、環境を決めつけることなく変えていくようにしている	
	4 保育・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。	6		・安全チェック項目で危険な箇所を日々チェックしつつ、子どもにとってわかりやすい構造、動線になっているか配慮している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できている。	2	4	お忙しい中でも、常勤の先生方が話を聞いてくださるのありがたい。 日々自分の課題を出し上長へ相談、改善できるように意識的に相談をしていっている。	全体研修だけでなく、教室内での研修や検討会ができればと思う。 研修の議題や課題に対する意見が意欲の高いスタッフが多く答えることが多く、受け身になっているスタッフもいるので、積極的にどのスタッフも取り組めるようにしていきたい。
	6 職員の資質の向上を行うために、定期的に研修を行なっている。	2	4	安全チェックや5S後ほど取り組みにより、スタッフ間で意識を高めることができた。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	7 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されている。	6		同じ活動でも個々の成長段階によってねらいや目標を柔軟に変えていくことをスタッフ間で相談して取り組んでいます。計画通りにいくことがねらいではないこと、子どもたちの体調面や情緒面も日々違うため、その日の子どもに合わせていくことがとても大切な支援だと思います。	支援を行っていくためには、しっかりと準備を整えていくことが大切だが、日々の業務に追われてしまいがちな準備が進まずギリギリになってしまうことがある。余裕を持って準備を整えられるよう、業務効率化を図りたい。 保護者様への記録と支援の記録の時間配分のバランスも難しいので、時間をかけすぎず、でも必要・重要なことは的確に記録できるように意識して取り組んでいきたい。 パート勤務で子どもの利用時間と勤務時間が同じ為、振り返りの時間を取る事が難しい。勤務の合間に話を聞いていただいているが、じっくり事例検討などしてみたいと思う。 パートの先生に支援計画については自身で確認をしていただいたり、口頭で伝えるようにしているが、認識には差が生まれやすいので気を付けていきたい。
	8 個別支援計画に沿った支援が行われている。	6			
	9 活動プログラムの立案をチームで行っている。	6			
	10 活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	6			
	11 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ活動プログラムや個別支援計画に反映している。	6			
	12 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	6			
	13 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	6			
	14 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	6			
	15 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	6			

関係機関連携	16	地域の母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関(区役所等)と連携した支援を行っている。	5	1	常勤の先生方はお忙しい中、きめ細やかな連携をされているように感じます。状況もスタッフと共有くださり、ありがたく思います。小学校や支援学校へ行く子に対する支援内容を伝えたり、幼稚園に通っている子が実際困っていることを伺い、それに対する返答をしりする内容をスタッフ間で話し合っている。保護者を通して情報を交換している。幼稚園での見学、就学に向けて支援学校の先生の見学、情報を交換している。	実際にその現場を見ることができているわけではないので、保護者様の意向や電話のみの対応になってしまっているのが、難しさを感じる。
	17	移行支援として、保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	5	1		
	18	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	6			
	19	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、支援に活かしている。	5	1		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	20	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		センター南第2教室はお子様の降園時間がバラバラなため、特にお昼に帰る子の保護者の方は、スタッフがお弁当や午睡準備に入るため午後利用の保護者の方に比べて慌ただしくなってしまうことがある。 時々口頭では説明することが難しい時があるので、実物や写真を見せてお伝えするようにしていますが、もう少し説明が上手くなるようにしたいです。
	21	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解ができている。	6	管理者・社員の先生方がしっかりと行っています。	
	22	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	6	状況により送り迎えの時に長めにお話の時間を取ったり、希望によっては急遽面談をされたりと保護者の方々に寄り添った対応をされていると思う。	
	23	行事の開催などを通じて保護者同士の交流・連携を支援している。	6	なるべく送迎の時間にはその利用児さんの対応をしたり、その状況をわかっているスタッフか説明をしたり、お話しするようにして、質問がある場合にはなるべく丁寧にわかりやすくお伝えするようにしています。	
	24	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	6	保護者の方にはできるだけイメージしやすいようにわかりやすく伝え、必要に応じて面談を行っている。	
	25	定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等のお知らせ情報を発信している。	6		
	26	個人情報の取扱いに十分注意している。	6		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	27	防犯対策、感染症予防、非常災害時の対応方法について、職員間で共有し、保護者さまに周知・説明している。	6	非常時に大切なことは「子どもを守る」そのためにはスタッフ間で声を掛け合っていくことが何より大切だと思います。毎月の避難訓練だけでなく、日々の声の掛け合い、コミュニケーションを取っていくことでチームワークを高めていっていると思います。	備蓄の食品だけでなく、断水や停電を予測した対策も考えていきたい。 ヒヤリハット事例についてゆっくり検討する時間を設けていきたい。 教室から階段で避難する際にはビルの階段の段差があり、足元がふらつく子にはとても難しい階段なので、抱っこ紐や抱えて降りる練習をしておくなどシミュレーション機会を増やしたい。
	28	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	6		
	29	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	6	様々な設定で避難訓練をしており、都度問題点を話し合っ共有している。また、てんかんの既往を持つ子どもについても同様。ヒヤリハット次にヒヤリが起きないよう、改善を重ねている。	
	30	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	6	避難グッズの持ち物を一次避難の場所からすぐに取れるところにしている。また、避難の際に玄関扉とその先の階段の扉用にドアストッパーを用意したりしている。	
	31	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	5	1	

事業所内での分析	分析結果を踏まえた改善目標の設定
(保護者評価・事業所評価のずれ・共通点の分析) 【保護者評価・事業所評価のずれについて】 「行事や開催などを通じて保護者同士の交流・連携が支援されている」においてズレが見られた。 【共通点】 「保育所、他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所との連携した支援、情報共有について」	・行事や保護者会は開催されているが、より保護者同士の交流を持てるような内容を取り入れたい。また、保護者の方にもアンケートをとるなどして交流や情報交換を持てるような機会を作っていきたい。 ・幼稚園や療育センターといった他施設と併用されるお子さんのためにも、連携した支援を図っていきたい。地域のつながりも広げていきたい。 ・社内での事例検討会で行われているが、定期的な事業所内でも事例検討会、研修検討会を行い、スタッフ間で共通認識や意識を高めていきたい。